



武庫の宝

令和7年 1月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては良い年をお迎えになられたと思います。本年もどうかよろしくお願いいたします。

「経営の神様」と呼ばれた松下幸之助さんの「一日一話」から…

竹にフシがなければ、ズンバラボウで、とりとめもなく、風雪に耐えるあの強さも生まれてこないであろう。竹にはやはりフシがあるのである。同様に流れる年月にもやはりフシがある。ともすれば、とりとめもなく過ぎていきがちな日々である。せめて年に一回はフシをつくって、身辺を整理し、長い人生に耐える力を養いたい。そういう意味ではお正月は意義深く、おめでたく、心も改まる。常日頃考えられないことも考えたい。無沙汰のお詫びもしてみたい。そして新たな勇気と希望を生み出したい。

(出典：PHP 研究所)

2024 年度も残すところあと三か月。子どもたちが登校する日数は 5 年生が 51 日、他の学年はちょうど 50 日です。その日数をどうとらえるかはそれぞれ。大事なものはその日々をどう過ごすかです。3 学期の日々をスタートする今日、3 学期の始業式はまさに大切なフシです。



今私は、2 週間ぶりに校門に立ち、子どもたちと出会うこと、あいさつをすること、始業式で子どもたちのまなざしを感じることを楽しみでなりません。子どもたちが新たな勇気と希望を生み出して 3 学期をスタートすることを心から願っています。

そして、「フシ」、節目という点でもうひとつ。今年 2025 年は、戦後 80 年、阪神淡路大震災から 30 年の節目の年でもあります。私は、このふたつについて思いをもって取り組んできました。そのどちらもこれからの未来を担う子どもたちに語り継いでいきたい大切なことであり、節目だからこそしっかりと考えていきたいと思っています。

また、1 月 19 日(日)には武庫小校区のお住まいの方を対象に、住民研修会が開催されます。(12 月に案内配布済)「つながろう武庫～ふれあいいっぱい思いありいっぴいのまちづくり～」をテーマに、認知症ケアに関する講演、人権コンサートが計画されています。お時間許す方はぜひご参加ください。

3 学期も子どもたちそれぞれが充実した日々を送れるようどうかご支援ご協力をお願いいたします。